
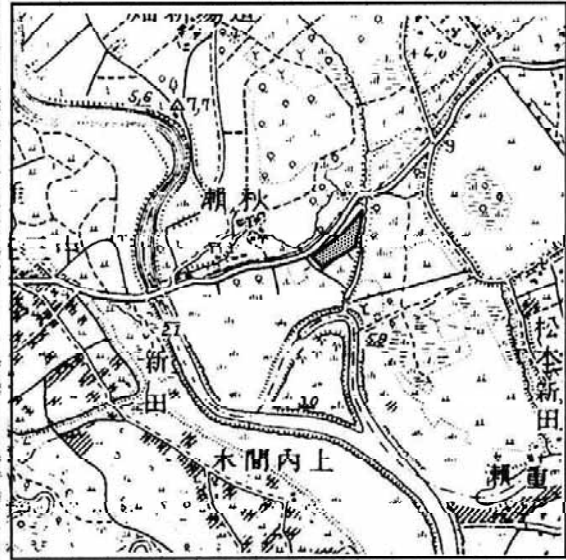
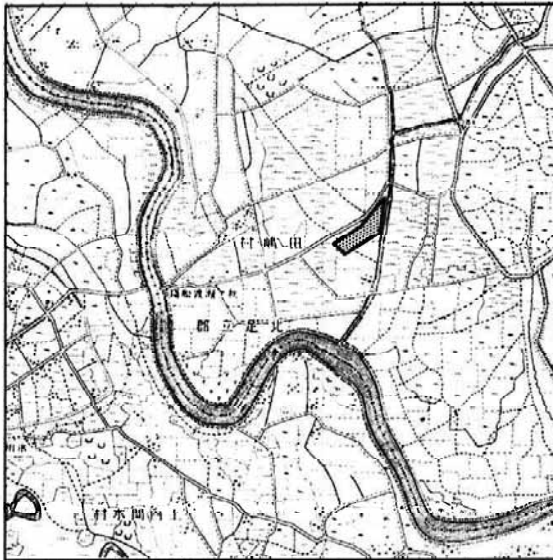


(2) 特別天然記念物田島ヶ原サクラソウ自生地に於ける地表水の変動

註：  = 指定地となった場所

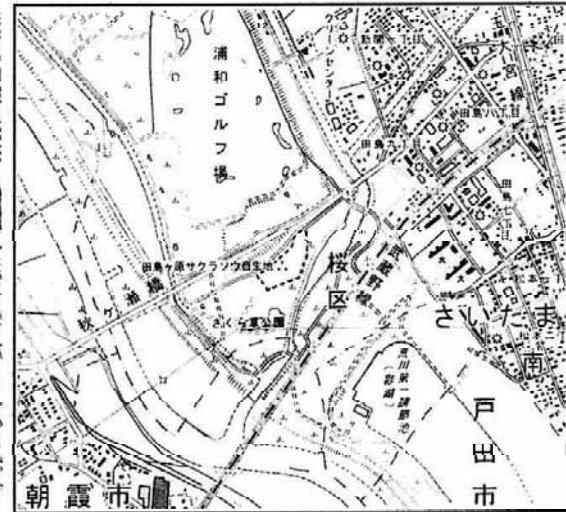
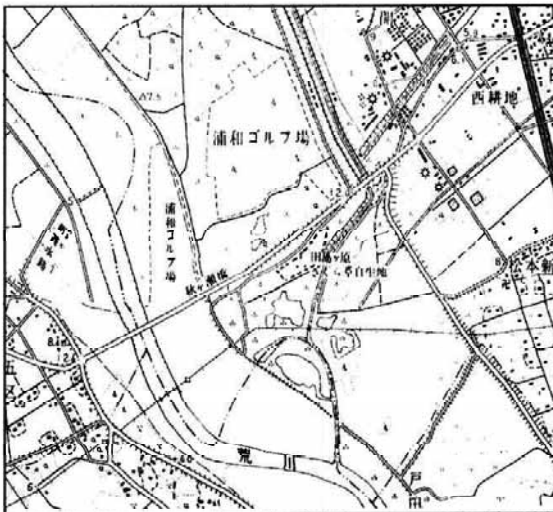


① 指定以前の田島ヶ原 1885年(明治18年)

指定地となった場所は、荒川の秋ヶ瀬渡船場に近い志木街道沿いにあり、脇を鴻沼川が流れ、周辺には広大な洪水域に湿生草原(茅場)が広がり、地表水の水環境は豊かであった。

② 指定当時の田島ヶ原 1929年(昭和4年)

荒川が指定地の近くを蛇行し、湿生草原(茅場)の樹林化が進行しているが、水環境は良好である。指定地に隣接した流路は鴻沼川で、鴨川は開削されていない。



③ 公有地化当時の田島ヶ原 1969年(昭和44年)

開発が進み自然環境の著しい変化が見られるが、指定地周辺には湿生草原が広がり、滞水池が散在しているなど、地表水の水環境は良好である。指定地に近接して鴨川が開削されている。

④ 公園化当時の田島ヶ原 2003年(平成15年)

「さくらそう公園」に排水溝や暗渠排水路が設置され、また、この地域を囲む荒川第一調節池の団繞堤により、洪水時の冠水がほとんど無くなるなど、地表水の排除が図られた。